

2018年6月7日

ICDAホールディングス株式会社

(東証二部・名証二部 3184)

International Conglomerate of Distribution for Automobile

2018年3月期 決算説明資料



2018年3月期 決算概要

- ・新車販売台数 5,252台（前年同期比 7.0%増）
- ・中古車販売台数 10,178台（前年同期比 11.4%増）
- ・新店舗及び新型車発売の効果により販売台数が増加
- ・販売台数の増加により、増収増益へ

グループ販売台数の推移

（単位：台）

	2017年3月期			2018年3月期				2019年3月期計画	
	上期	下期	累計	上期	下期	累計	前年比	累計	前年同期比
新車	2,234	2,676	4,910	2,354	2,898	5,252	↑ 7.0%増	5,500	↑ 4.7%増
中古車	4,418	4,719	9,137	5,088	5,090	10,178	↑ 11.4%増	9,500	↓ 6.7%減

長期的な営業環境

- ・自動車の保有台数のゆるやかな減少
- ・自動車の乗替えサイクルの長期化
- ・環境対応車の発表により、燃費競争が加速

下期の営業環境

- ・EV,ハイブリッドなどの低燃費車や安全システム搭載車が堅調
- ・一部メーカーの不正発覚による影響が継続
- ・鉄・アルミ等の資源価格相場は緩やかに回復傾向 (単位：千台)

	2017年3月期			2018年3月期			
	上期	下期	累計	上期	下期	累計	前年同期比
国内新車販売台数	2,306	2,771	5,077	2,482	2,714	5,197	↗ 2.3%増
国内中古車登録車台数	1,799	1,985	3,785	1,860	1,966	3,826	↗ 1.1%増
輸入車新規登録台数	167	179	346	167	183	351	↗ 1.3%増

日本自動車販売協会連合会及び日本自動車輸入組合資料より当社作成

自動車販売関連事業

(株)ホンダ四輪販売三重北

- 新車販売（ホンダ正規ディーラー）
- 中古車販売・買取（全メーカー）
- サービス

(株)オートモール

- 新車販売
 - ポルシェ（正規ディーラー）
 - Audi（正規ディーラー）
 - VW（正規ディーラー）
- 中古車販売・買取（全メーカー）
- サービス

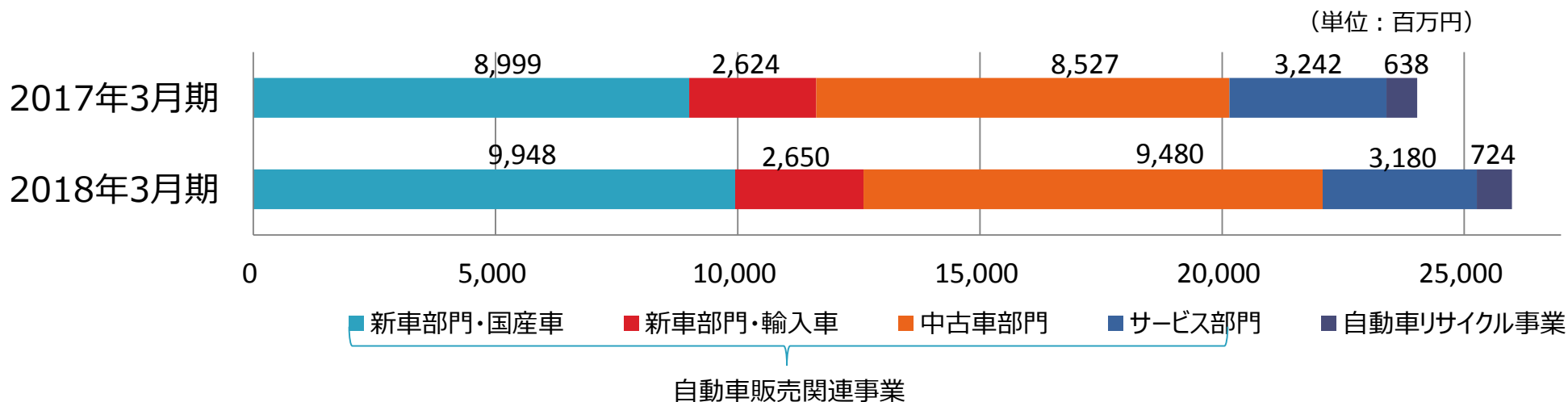
自動車リサイクル事業

(株)マーク・コーポレーション

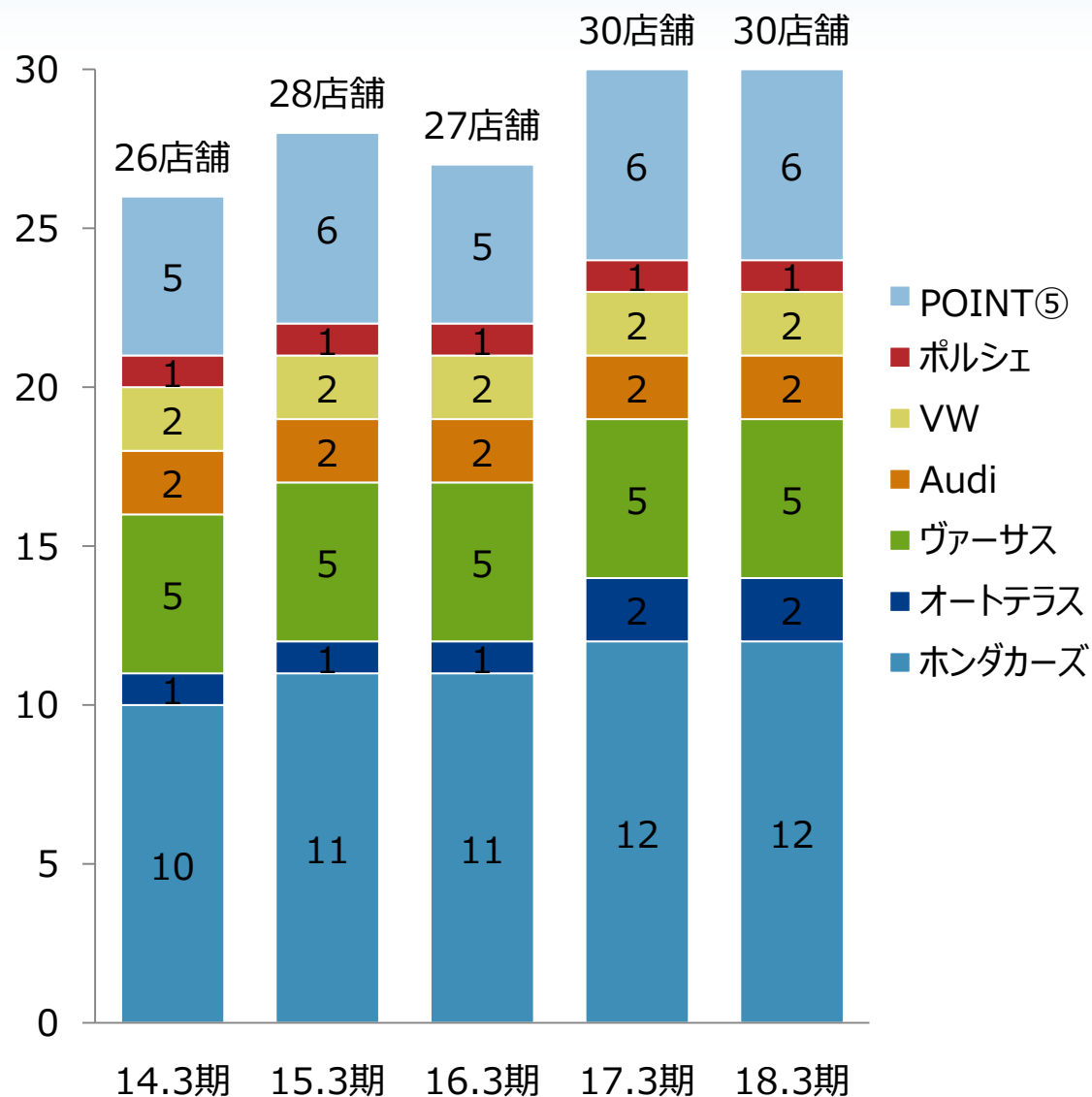
- 鈴鹿オートリサイクルセンター



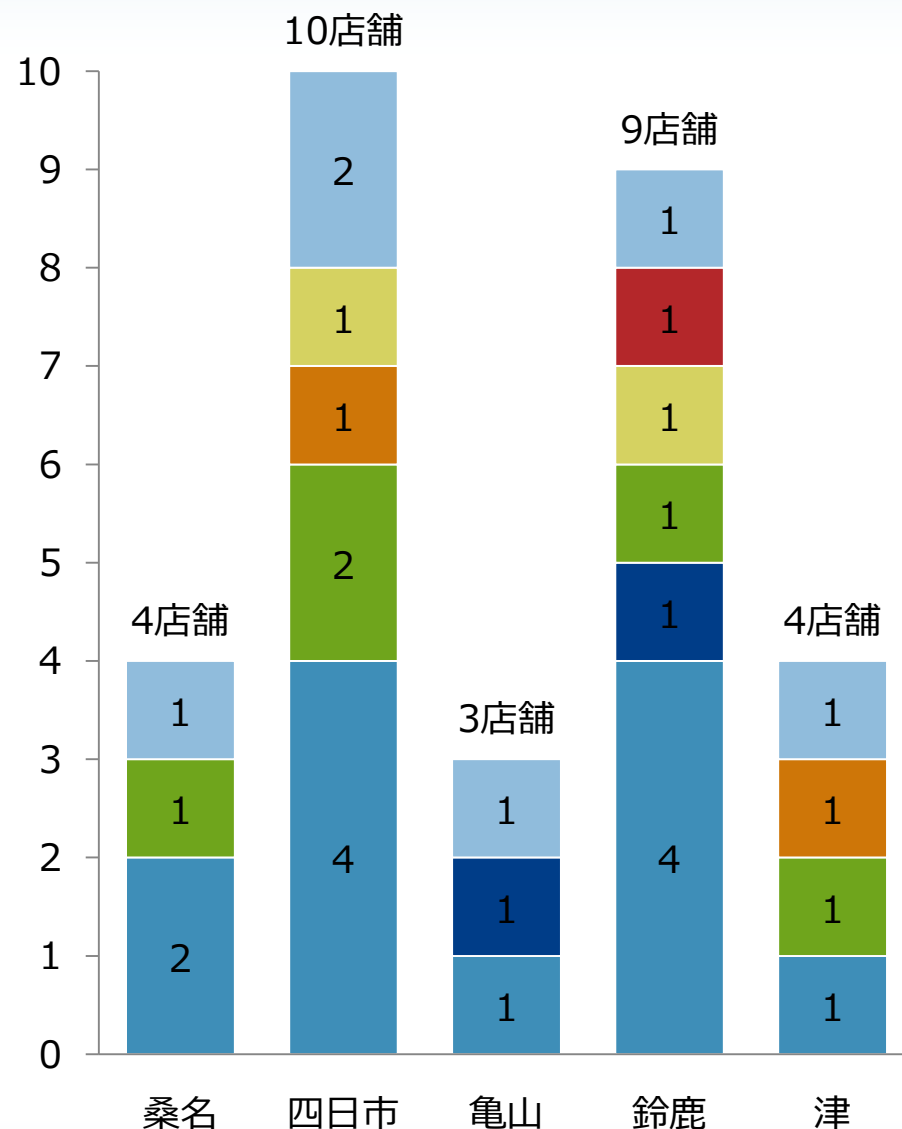
事業別売上高の前年同期比



出店状況の推移 (5年間)



地域別出店状況



2018年3月期業績 (前期比)

(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額	増減率
売上高	24,044	26,001	1,957	+ 8.1
営業利益	550	896	346	+ 62.9
経常利益	538	888	350	+ 65.0
親会社株式に帰属 する当期純利益	351	401	50	+ 14.2

(単位：百万円)

		2017年3月期	2018年3月期	増減率	構成比
自動車販売 関連事業	新車部門 (国産車)	8,999	9,948	+ 10.5	38.3
	新車部門 (輸入車)	2,624	2,650	+ 0.9	10.2
	中古車部門	8,527	9,480	+ 11.1	36.4
	サービス部門	3,242	3,180	- 1.9	12.2
	合 計	23,405	25,276	+ 7.9	97.2
自動車リサイクル事業		638	724	+13.4	2.8
合 計		24,044	26,001	+8.1	100.0

連結貸借対照表

155億
14百万円

前期末比
3百万円
増加

■資産の部

流動資産43億87百万円
前期末比 +4億46百万円

固定資産111億27百万円
前期末比 △4億42百万円

106億
89百万円

前期末比
3億54百万円
減少

48億
25百万円

前期末比
3億57百万円
増加

■負債の部

流動負債80億89百万円
前期末比 +4億83百万円
固定負債25億99百万円
前期末比 △8億37百万円

■純資産の部

資本金11億61百万円
前期末比 増減なし
資本剰余金11億48百万円
前期末比 増減なし
利益剰余金23億42百万円
前期末比 +2億96百万円

2019年3月期計画

セグメント		2019年3月期の営業環境
自動車販売 関連事業	新車部門 (国産車)	新規商品・モデルチェンジの投入が相次ぐ
	新車部門 (輸入車)	市場動向は前年横ばいをベースとして予測しつつ、下期には消費税増税前の駆け込み需要を期待
	中古車部門	中古車市況は持ち直しつつあるが、一部メーカーの不正問題による影響が継続
	サービス部門	車検到来数は上期:前年程度、下期:前年上回り、年間通じては過去最大並みの件数を想定
自動車リサイクル事業		鉄・アルミ等の資源価格相場は緩やかながら回復 軽・小型車の在庫が増加する傾向

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	増減額	増減率
売上高	26,001	28,000	1,957	+ 7.7
営業利益	896	993	346	+ 10.8
経常利益	888	970	350	+ 9.2
親会社株式に帰属 する当期純利益	401	670	50	+ 62.7

2019年3月期 事業別売上高計画

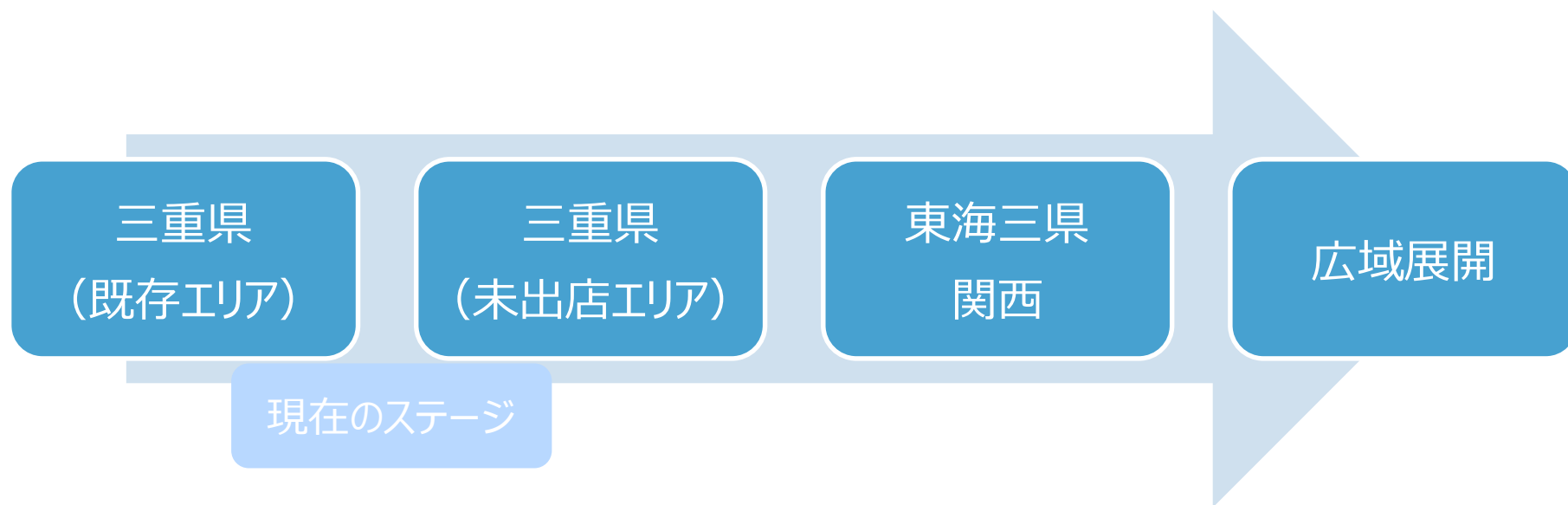
(単位：百万円)

		2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	増減率 (%)	構成比 (%)
自動車販売 関連事業	新車部門 (国産車)	9,948	11,239	12.9	40.1
	新車部門 (輸入車)	2,650	2,934	10.7	10.4
	中古車部門	9,480	9,865	4.0	35.2
	サービス部門	3,180	3,164	-0.5	11.3
	合 計	25,276	27,215	7.6	97.2
自動車リサイクル事業		724	784	8.2	2.8
合 計		26,001	28,000	7.6	100.0

セグメント		施策
自動車販売 関連事業	新車部門 (国産車)	過去に並ぶ車検到来に対する代替提案 オールラインナップ（軽・スモール・ミニバン・ハイブリッド・セダン）に合わせた販売の強化 用品拡販を強化し、1台当たりの収益を改善
	新車部門 (輸入車)	販売計画必達のため、顧客源泉と車種により細分化し、不振分野に適宜リソースを集中 消費税増税のリセッションに備えて、残価設定型ローン推進により代替需要の基盤を構築 付属品販売をKPIとして管理し、粗利単価を向上
	中古車部門	チラシ・ネットによる新規来店誘引と既存ユーザーに対する代替提案強化 残価設定クレジット提案開始 業販サイト（A S N E T）を活用し在庫回転率の強化
	サービス部門	顧客の拡大と取込み メンテナンスパックの継続加入を促進、総加入率を底上げし、点検・車検実施率を上げる リコール対象車の回収促進
自動車リサイクル事業		使用済自動車の安定的確保 リユースパーツ販売の強化

今後の戦略

- 出店余地がある三重県での複合型店舗の推進
- 中期的には **M & A** を踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大
- 中古車販売・買取を行う独自ブランド P O I N T ⑤ を **積極展開**



出店エリア選定基準

人口3万人以上の都市

交通インフラが未整備な地域

1世帯あたり自動車所有台数
1.0台以上

- 八野モータープール（三重県鈴鹿市）が2014年3月に完成
- 自動車業界において問題となっている、**路上積み下ろしを解消**



約20,000坪の敷地面積

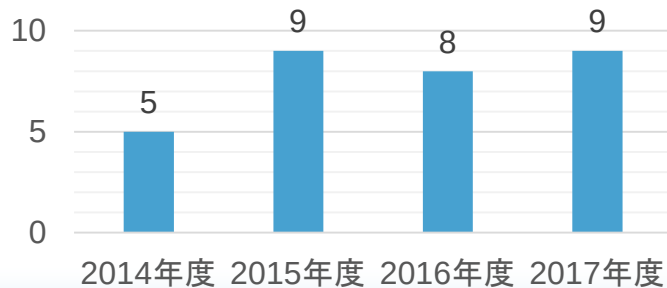
- PBカー（自主企画カスタマイズカー）
- グループ新車・中古車デポックスセンター

- 全国的に珍しい、自動車営業・自動車整備士・サービスフロントに**女子力**を活用
- 女性目線**を活かした商談・接客、自動車整備の効率化



今期、女子サービスフロント登用拠点は9店舗を予定

■ 女子サービスフロントの推移(人)



掲載日 中日新聞朝刊 (2014年7月2日)
11ページ

中日新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。



今後の戦略④ 亀山ライフ・ミックス・オートモール

- 平成29年1月亀山ライフ・ミックス・オートモール（新車・中古車の複合商業施設）オープン
- 大型車検センターによる、高効率化の取り組みをグループ全店へ波及
- 今後、自動車販売だけでなく、スーパー等のテナントを誘致する複合施設へ

ホンダカーズ三重北亀山長明寺店
オートテラス亀山長明寺
POINT⑤亀山店
リサイクルパーツショップ
大型車検センター



【基本方針】

将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
連結当期純利益の20%程度を目安に安定配当を継続

配当の状況

	配当性向（連結）	1株当たり年間配当金
2017年3月期	29.9%	50円
2018年3月期	26.2%	50円
2019年3月期（予想）	16.1%	50円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

参考資料

社名

ICDAホールディングス株式会社

設立

2009年10月1日

本社

三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1

代表者

代表取締役社長 向井弘光

資本金

1,161百万円

発行済株式総数

2,099,936株（自己株式64株を除く）

事業内容

自動車販売関連事業
自動車リサイクル事業

売上高

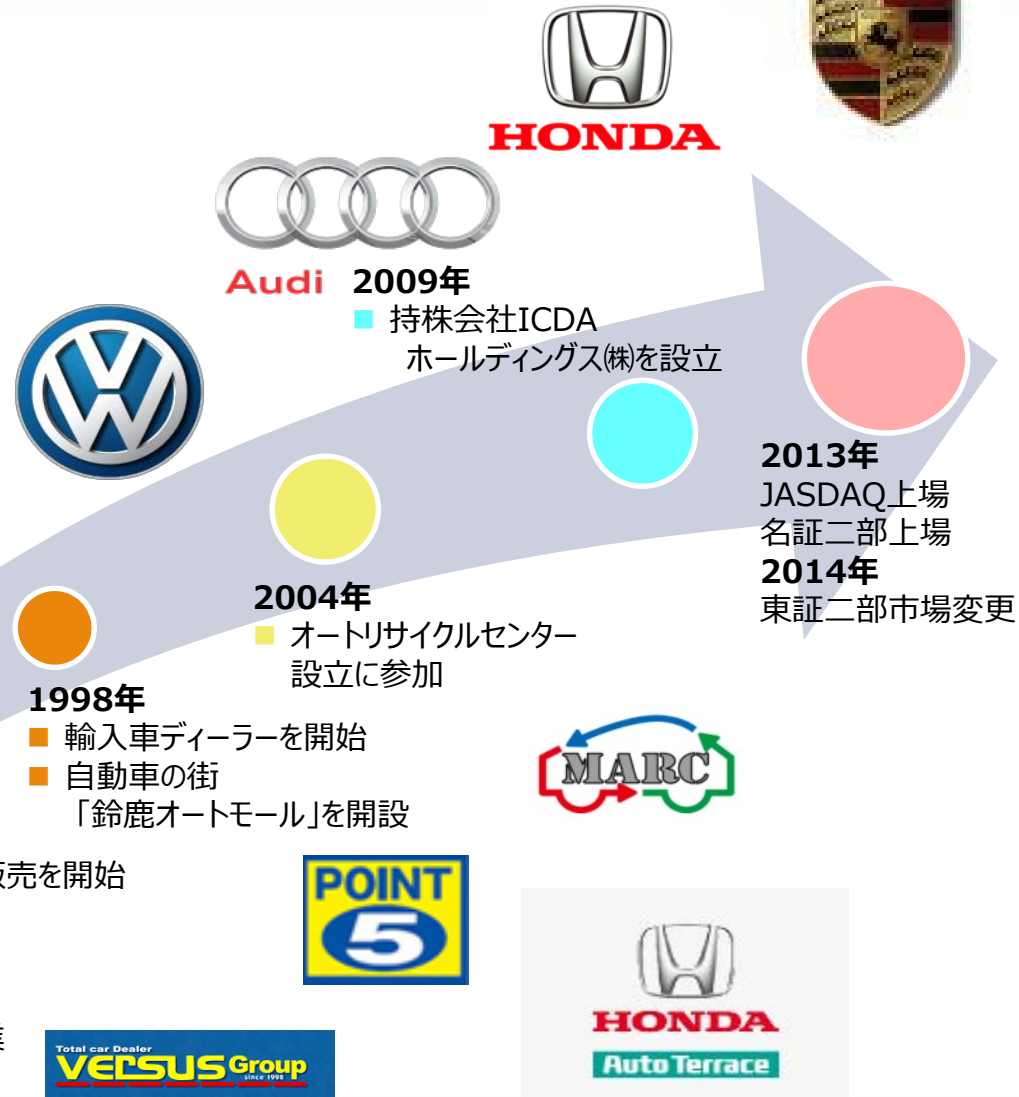
26,001百万円（連結）
（2018年3月期）

経常利益

888百万円（連結）
（2018年3月期）

従業員数

345名（連結）
（2018年3月期）



三重県の地域別推計人口と店舗数（2018年3月1日現在）

地 域 名	人口比率 (%)	店舗数	範 囲
桑名	12.1	4	桑名市・いなべ市・桑名郡・員弁郡
四日市	21.0	10	四日市市・三重郡
鈴鹿・亀山	13.7	12	鈴鹿市・亀山市
津	15.4	4	津市
松阪	11.6	—	松阪市・多気郡
伊勢	13.1	—	伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会郡
伊賀	9.2	—	名張市・伊賀市
尾鷲	1.8	—	尾鷲市・北牟婁郡
熊野	2.0	—	熊野市・南牟婁郡
合計	100.0	30	

出店済エリア

未出店エリア

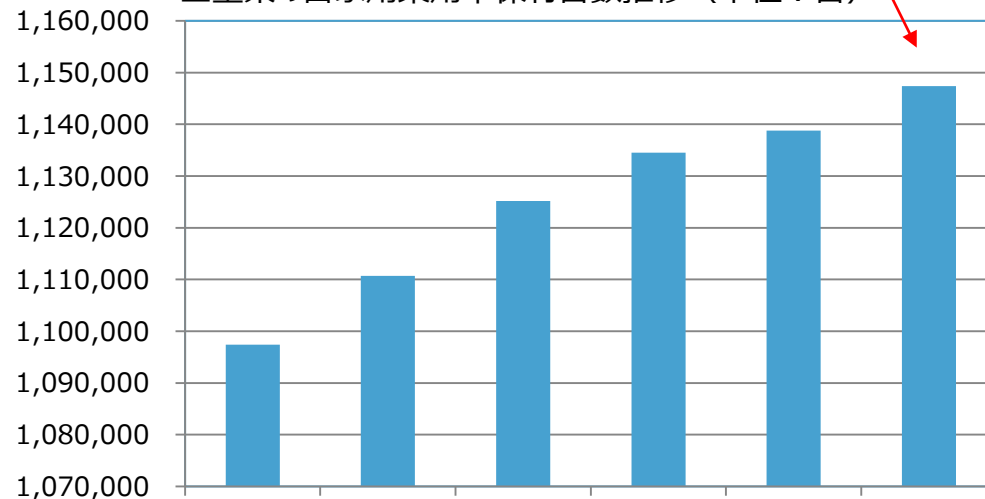
出所：三重県公式HP 2018年3月1日現在、「三重県地域別推計人口調査結果」より当社作成

東海三県の自家用乗用車（※）の普及台数及び保有台数（2017年3月末）

県 名	普及台数/世帯 (台)	全国順位	保有台数 (台)	全国順位
愛知	1.283	28位	4,125,650	1位
岐阜	1.594	7位	1,291,304	17位
三重	1.466	14位	1,147,394	21位

出所：一般財団法人 自動車検査登録情報協会
「自家用自動車の世帯当たり普及台数」より当社作成

三重県の自家用乗用車保有台数推移（単位：台）



12年3月末 13年3月末 14年3月末 15年3月末 16年3月末 17年3月末

出所：（社）日本自動車販売協会連合会三重県支部「三重県自動車数要覧」より当社作成

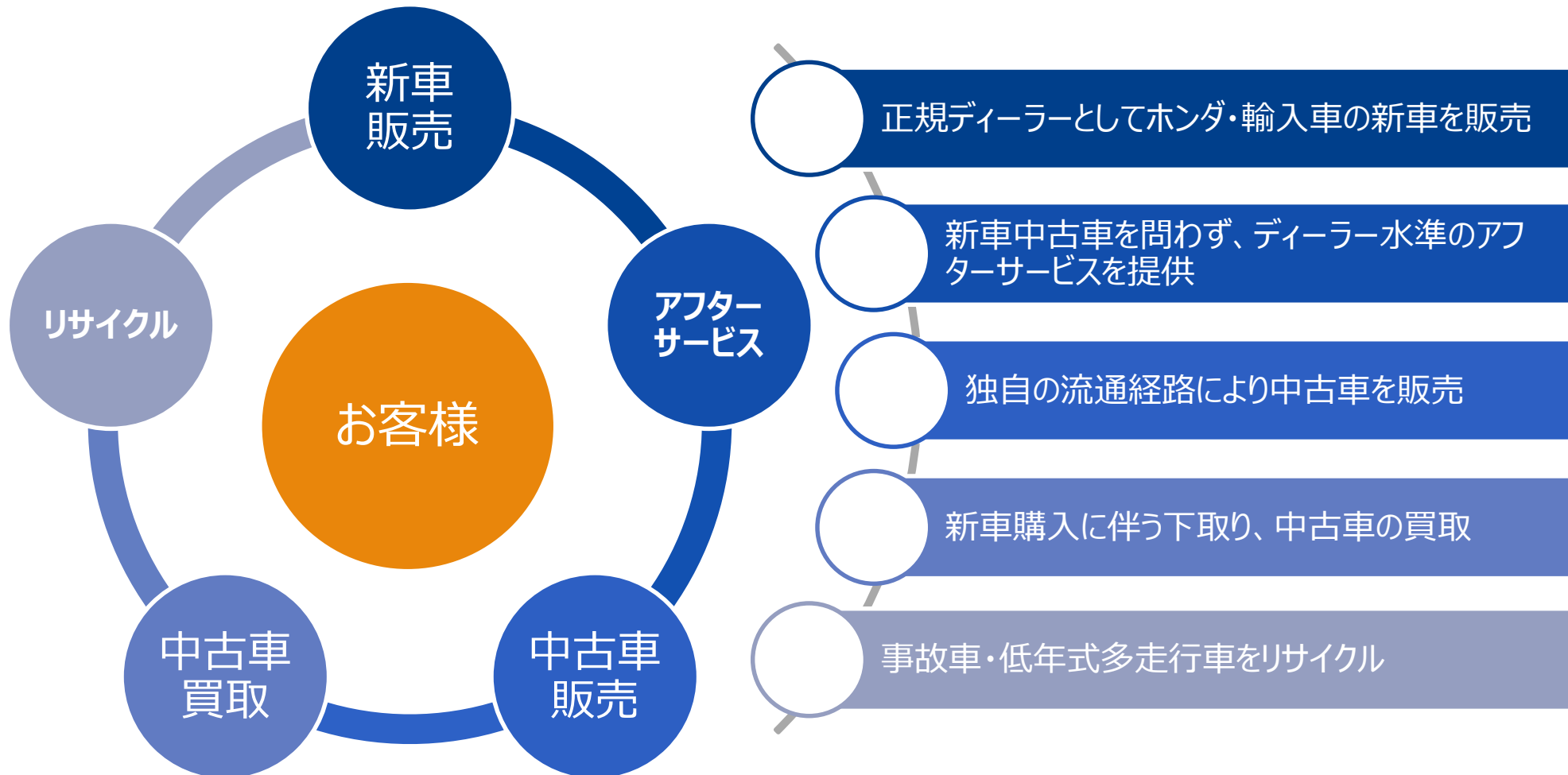
（※）自家用乗用車・登録車と軽自動車の合計

- 様々な価格帯の自動車を取り扱うことで、幅広い顧客層にお車を提供することが可能

★はオリジナルブランド

店舗ブランド	業態	購入層とブランドの特徴	価格帯
ポルシェ	正規ディーラー	富裕層・本格派 車大好き・複数台保有	高
Audi	正規ディーラー	知性派 医師・学者等	
Volkswagen	正規ディーラー	ブランド志向の女性が多い	
ホンダカーズ	正規ディーラー	ブランド志向の広領域ユーザー	
★ ヴァーサス	中古車業態	全メーカー取り扱い	中
オートテラス	中古車業態	ホンダ車専門	
★ POINT⑤	中古車業態	全メーカー取り扱い 買取強化店・販売は低年式多走行車が中心	低

- 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大



■ バリューチェーンを自社グループで構成することによる効果

①収益機会の増加

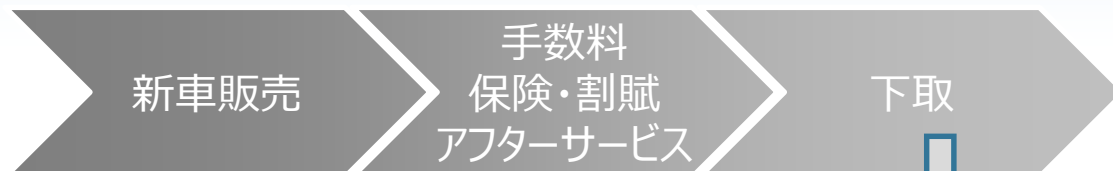
②独自の中古車流通

③リユースパーツの活用

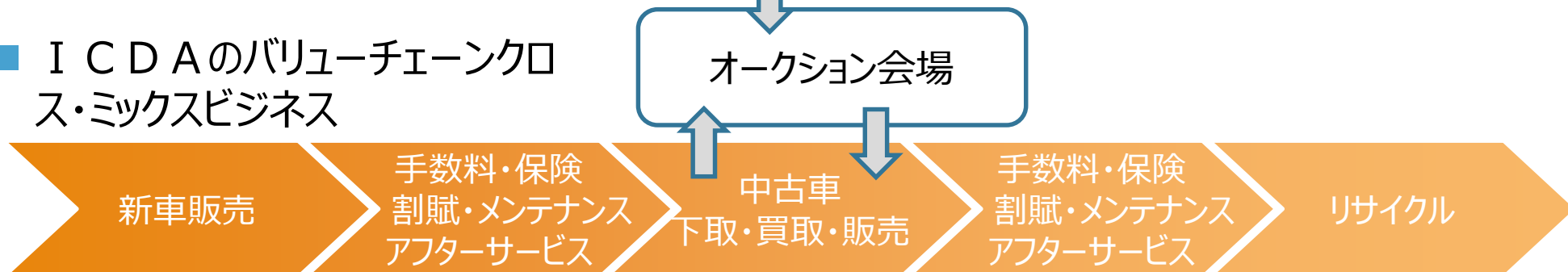
④店舗開発ノウハウ

① 収益機会の増加

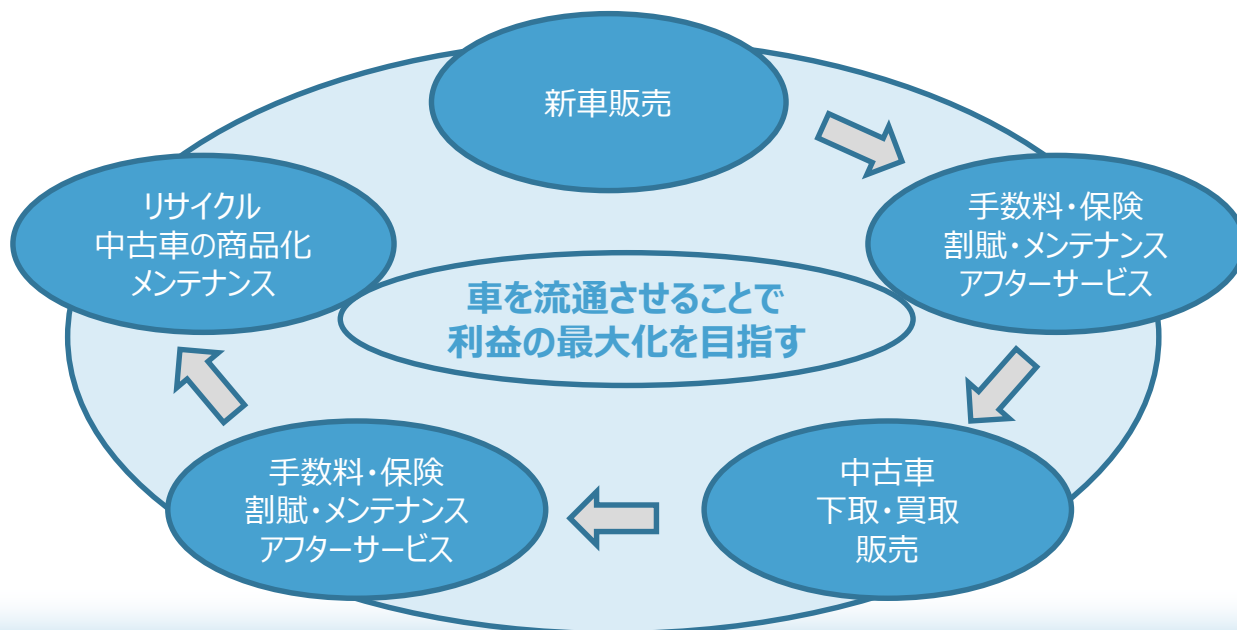
■ 一般的な新車ディーラーにおけるバリューチェーンビジネス



■ ICDAのバリューチェーンクロス・ミックスビジネス



■ 自社グループにて新車販売・中古車下取・買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車流通する際の収益機会が増加



②独自の中古車流通（グループ内流通でバリューを追求）

ICDAホールディングス

- 車の種類・状態等に合わせ、グループ内で効率よく流通

POINT⑤と鈴鹿オートリサイクルセンターを保有することで、車を売りやすい仕組みを構築



潤沢な中古車の確保が可能



③リユースパーツの活用（顧客満足度の向上）

- 品質の高いリユースパーツを提案
- 低コストでの修理が可能となり顧客満足度が向上



④店舗開発ノウハウ

- 複数のブランドを組み合わせることでマーケットに合わせた店舗展開が可能
- 選択肢が多い店舗を実現することでターゲット層が拡大し、集客力が向上

(Ⅰ) 複合型店舗

- 新車ディーラーを核とした複合型
- 幅広いターゲットに対応

(Ⅱ) 小規模併設店舗

- POINT⑤と組合せた出店
- 低コストのオペレーション

(Ⅲ) 隣接型店舗

- 商業施設との共同開発
- ファミリー層に対応

(Ⅸ) ライフ・ミックス・ オートモール

- テナントを誘致した複合施設
- 幅広いターゲットに対応

鈴鹿で株主をおもてなし

ICDAホールディングスが優待企画



グループで扱う車両計21台を用意した

この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。というもので、コーススタップの運転による先導車の後を、一列に走行する。ヘアピンカーブや裏ストレート、130Rなどの5・8kmの国際レーシングコースをフルに使い、1セッション3周を計3回実施した。第1セッションでは、株主らが持ち込んだ車両によるマイカーランで、普通自動車免許をお持ちの当社株主

【建】ホンダ四輪販売三重北を核とするICDAホールディングスが25日、株主対象とした「マイカーラン」を鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催した。国際レーシングコースを株主が持ち込む車両などで走行する企画で、昨年に続いて2回目の開催となった。同日にサーキット内施設で開催した株主総会後の株主に対する優待企画として実施しているもので、今回は前回の40人を上回る46人が参加した。株主のマイカーによる走行のほか、同社グループで取り扱うホンダ車や輸入車なども用意し、株主らは自らハンドルを操り国際的なコースでの走行を楽しんだ。

サーキット走行を楽しむ

この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。というもので、コーススタップの運転による先導車の後を、一列に走行する。ヘアピンカーブや裏ストレート、130Rなどの5・8kmの国際レーシングコースをフルに使い、1セッション3周を計3回実施した。第1セッションでは、株主らが持ち込んだ車両によるマイカーランで、普通自動車免許をお持ちの当社株主

愛知県から参加した投資家（男性40代）は、「この企画は今回初めて知り参加した。特に自動車車両やモーターススポーツに関心がある訳ではないが、せっかくのチャンスだと思い参加した。学生の頃ドライバーズを働いたが、そのコースを自分で運転できるとは想像すらしたことなかった。今回は素晴らしい体験ができ、一生の思い出になるだろう」と感想を語った。

また、主催者であるICDAホールディングスでは、「グループ全体で株主をおもてなしする日。参加希望者も増えた。我々もスタッフとして動き、株主とともに楽しむ日として今後も続けていく」（岡井弘光社長）としている。

同ホールディングスは、2013年6月にJASDAQに上場、その後11月に名証2部、そして昨年6月には東証一部に市場変更している。今回の企画は、上場後の株主優待の一環として行っているもので、来年も株主総会同日の開催を予定している。



当社の株主様を対象に、鈴鹿サーキット国際レーシングコース（5.8Km）を使用いたしまして、先導車付きマイカーランを実施させていただきます。
当社グループ取扱車種（※1）もご用意しておりますので、ご試乗頂くことも可能となっております。数々の名勝負の舞台となった鈴鹿サーキット国際レーシングコースを自らのドライビングでアタックしてみませんか。是非、この機会に、ふるってご参加ください。

【参加資格】 普通自動車免許をお持ちの当社株主様

【参加車両】 一般公道の走行可能な4輪車両

【日程】 2016年6月22日（水）

【スケジュール】
受付時間 13:30 チームオフィス（詳細は、株主総会終了後にご案内いたします。）
ブートアップ 14:00 プリーフィングルーム（走行に関する事前説明会）
走行時間 15:00～16:00

【会費】 無料

【申込方法】 本用紙の裏面に記載の注意事項、誓約事項をご確認頂き、必要事項をご記入の上、下記お申込先までFAXにてお申込み下さい。ご記入頂いた連絡先電話番号に、当社よりご連絡致します。

【申込先】 ICDAホールディングス株式会社 総務課 FAX: 059-384-2881
【申込期限】 2016年6月15日（水） 20:00 まで

【問い合わせ】 申込に関するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社 総務課 TEL: 059-381-5540

走行会に関するお問い合わせ先
株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 営業部営業課 担当: 川畑
TEL: 059-378-1300（平日9:00～17:00）



鈴鹿サーキットマイカーラン走行会

掲載日 日刊自動車新聞朝刊 平成27年（2015年）7月3日
日刊自動車新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先
I C D Aホールディングス株式会社

International Conglomerate of Distribution for Automobile

管理部総務課

TEL 059-381-5540

FAX 059-384-2881

URL <http://www.icda.jp/>